

# コニカミノルタグループ 2009年3月期 第1四半期決算説明会

2008年8月7日  
コニカミノルタホールディングス株式会社  
常務執行役 松本 泰男

- **本資料の記載情報**  
本資料におきましては、四捨五入による億円単位で表示しております。
- **将来見通しに係わる記述についての注意事項**  
本資料で記載されている業績予想、将来予想は現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。

## 08年度1Q決算の概況



- **売上高** : 厳しい外部環境の中で前年同期比1%増収を確保。  
為替影響を排除した実質ベースでは6%の増収。
- **営業利益** : 情報機器事業の減益をオプト事業でカバーし、前年並みを維持。  
会計基準変更の影響を除くと8%の増益。
- **四半期純利益** : メディカル&グラフィック事業の子会社・関連資産譲渡に伴う特別利益  
の計上もあり、前期比9%増益。
- **情報機器事業** : 米国での売上が伸び悩むも欧州では好調を維持。  
為替影響を排除した実質ベースの売上高は前年同期比2%増収。  
米欧販社の費用増加により営業利益では前年同期比20%の減益。
- **オプト事業** : 注力事業が全て好調、前年同期比大幅増収、増益。  
税法改正による償却負担増を除いた営業利益は前年同期比倍増。

**業績予想について** : 上期および通期業績予想ともに5/9公表値を修正せず。

# 08年度1Q 連結業績



	08年度 1Q実績	07年度 1Q実績	対前年 増減率	08年度 上期計画	【億円】 進捗率
売上高	2,551	2,524	1%	5,350	48%
売上総利益	1,199	1,260	-5%	-	
(売上総利益率)	47.0%	49.9%	-	-	
営業利益	245	247	-1%	565	43%
(営業利益率)	9.6%	9.8%	-	10.6%	
経常利益	279	277	1%	550	
税前利益	308	275	12%	570	
四半期純利益	176	161	9%	340	52%
(四半期純利益率)	6.9%	6.4%	-	6.4%	
為替レート	US\$ 104.55	120.78		100.00	
	ユーロ 163.43	162.72		155.00	
EPS (円)	33.22	30.40	9%		
ROE (年換算)	15.8%	16.7%	-		

# 08年度1Q 会計基準変更による影響



【億円】

	08年度 1Q実績	税法改正 償却費増	棚卸資産 低価法	サービス費用 計上変更	08年度 1Q実質	07年度 1Q実績	増減	増減率
売上総利益	1,199	14	8	79	1,300	1,260	40	3%
(売上総利益率)	47.0%				51.0%	49.9%		
営業利益	245	14	8		267	247	20	8%
(営業利益率)	9.6%				10.5%	9.8%		

主にオプト事業のTACフィルム関連設備の償却期間短縮(8年→5年)に伴う減価償却費の増

営業外費用にて計上されていた棚卸資産の評価損・廃棄損の売上原価への計上変更

主に情報機器事業の国内及び欧州販社におけるサービス費用の販売費から売上原価への計上変更

# 08年度1Q セグメント別売上高/営業利益



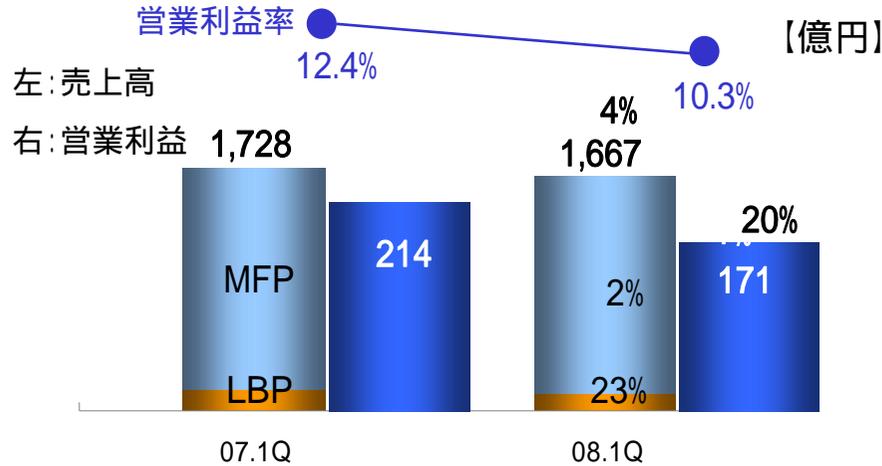
売上高	08年度 1Q実績	07年度 1Q実績	対前年 増減率	08年度 上期計画	【億円】 進捗率
情報機器	1,667	1,728	-4%	3,450	48%
オプト	511	375	36%	1,000	51%
メディカル & グラフィック	313	358	-13%	750	42%
その他事業	40	38	5%	100	40%
事業計	2,530	2,498	1%	5,300	48%
HD他	21	26	-18%	50	42%
グループ計	2,551	2,524	1%	5,350	48%

営業利益	08年度 1Q実績	07年度 1Q実績	対前年 増減率	08年度 上期計画	進捗率
情報機器	171	214	-20%	445	39%
オプト	88	47	87%	160	55%
メディカル & グラフィック	14	13	9%	20	71%
その他事業	3	4	-26%	10	32%
事業計	277	279	-1%	635	44%
HD消去他	33	32	-	70	-
グループ計	245	247	-1%	565	43%

# 08年度1Q 事業概況<情報機器>



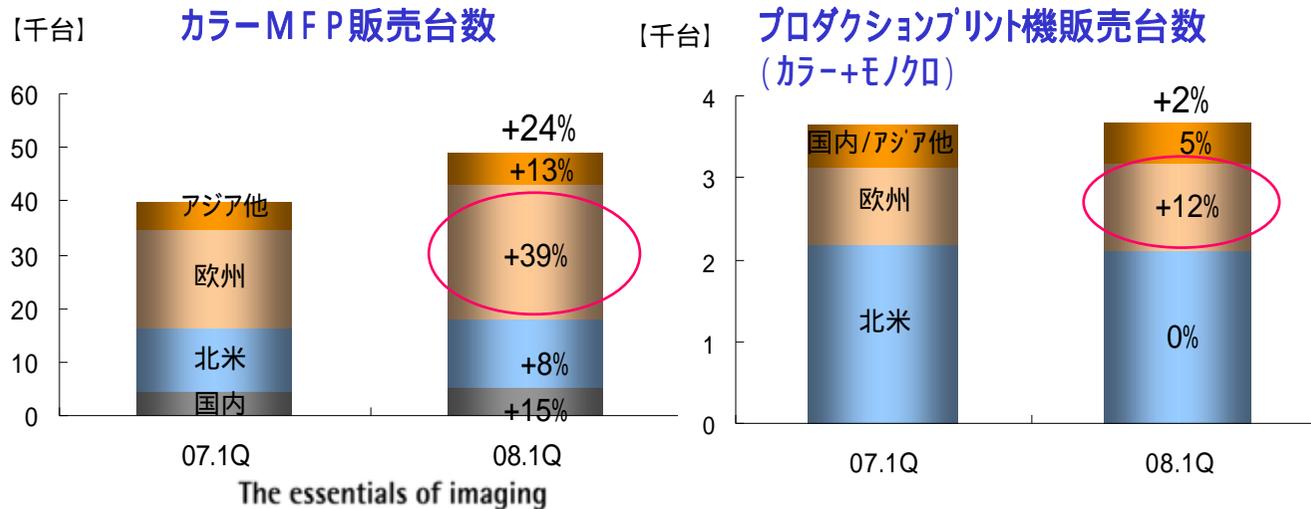
## 売上高・営業利益



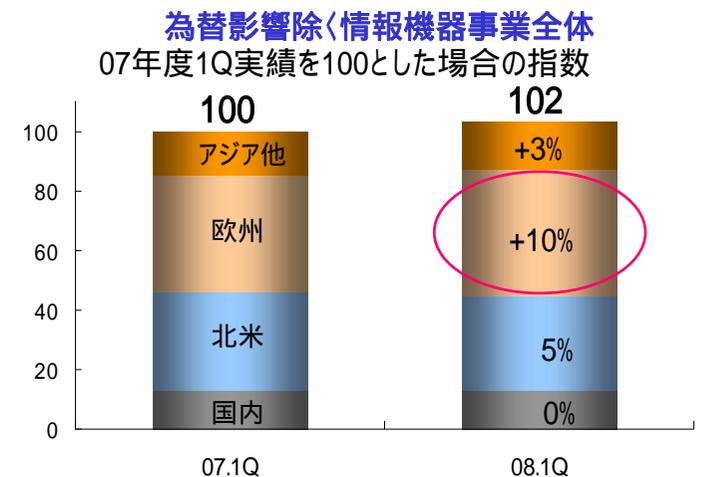
## カラーMFPは欧州を中心に成長を持続

- 為替影響除く実質ベースでの売上高は前年同期比2%増収
- 欧州は、オフィス向けカラーMFP、プロダクションとも販売好調で前年同期比10%増収。
- 北米は、モノクロMFPの減少が影響し、為替影響除く実質ベースでは前年同期比5%減収。
- プリンタは台数減少により売上減も、費用削減等により損益はほぼブレイクイブ。

## 主力製品販売数量



## 地域別売上高



# 情報機器事業の減益要因



	08年度 1Q実績	会計基準 変更影響	08年度 1Q実質	07年度 1Q実績	増減	為替 影響	価格 変動	数量 増減他	NET コストダウン	経費 増減
売上総利益	877	83	960	970	10	21	32	36	7	-
(売上総利益率)	52.6%		57.5%	56.1%						
営業利益	171	7	179	214	35	5	32	36	7	52
(営業利益率)	10.3%		10.7%	12.4%						

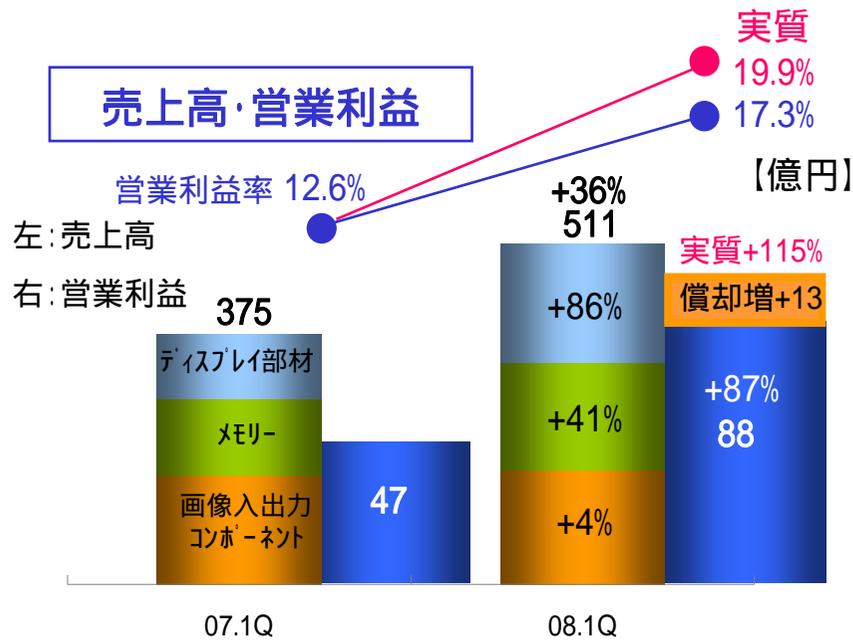
販社サービス費用： 75億円(売上総利益に影響)  
 棚卸資産低価法： 7億円(売上総利益、営業利益に影響)

売上総利益：会計基準変更による影響を排除すると売上総利益率は対前年1.4%増  
 価格下落影響をコストダウンやMFPカラーシフトによる製品MIX改善でカバー

営業利益：経費増52億円により営業利益は減益

- 主な経費増
- 研究開発費の増(18億円)
  - 新規連結による費用増(約25億円)
  - 米国販社などにおける販売費増(約10億円)

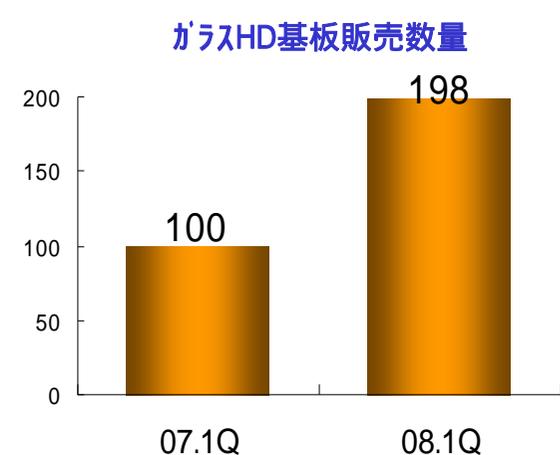
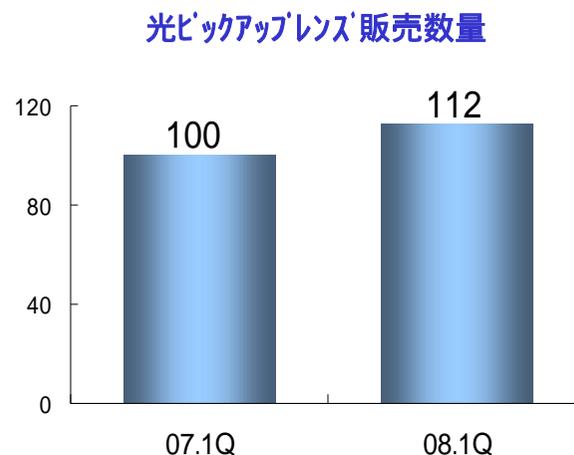
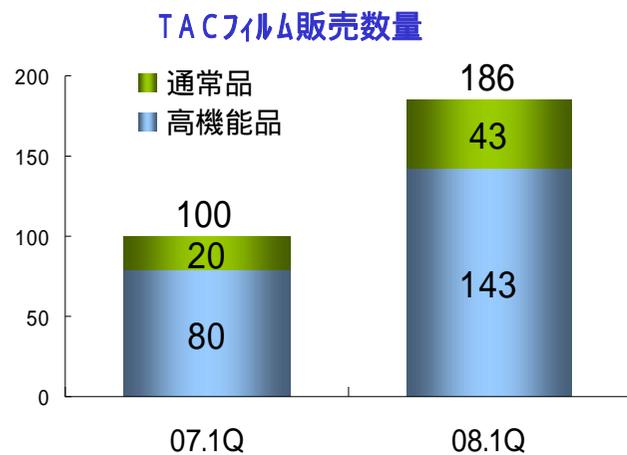
# 08年度1Q 事業概況<オプト>



## 主力3製品が牽引し、大幅増収増益

- TACフィルム**  
 ■VA-TAC中心に販売拡大。第6工場も稼働開始。
- 光ピックアップレンズ**  
 ■BD用が堅調、DVDも記録系中心に数量増。
- ガラスHD基板**  
 マレーシア新工場も増産に本格寄与し、大幅数量増。

## 主力製品販売数量 (07年度1Q実績を100とした場合の指数)



The essentials of imaging

# 08年度通期業績予想



	5/9公表値			【億円】	対前年	
	上期	下期	通期	07年度 通期	増減	増減率
売上高	5,350	5,750	11,100	10,716	384	4%
営業利益	565	635	1,200	1,196	4	0%
(営業利益率)	10.6%	11.0%	10.8%	11.2%		
経常利益	550	600	1,150	1,042	108	10%
税前利益	570	580	1,150	990	160	16%
当期純利益	340	360	700	688	12	2%
(当期純利益率)	6.4%	6.3%	6.3%	6.4%		

為替レート	US\$	100.00	114.28
	€	155.00	161.53

参考: 1円当たりの為替感応度(07年度年間) 営業利益・・・US\$/2億円 €/8.5億円

# 08年度通期業績予想 セグメント別売上高/営業利益



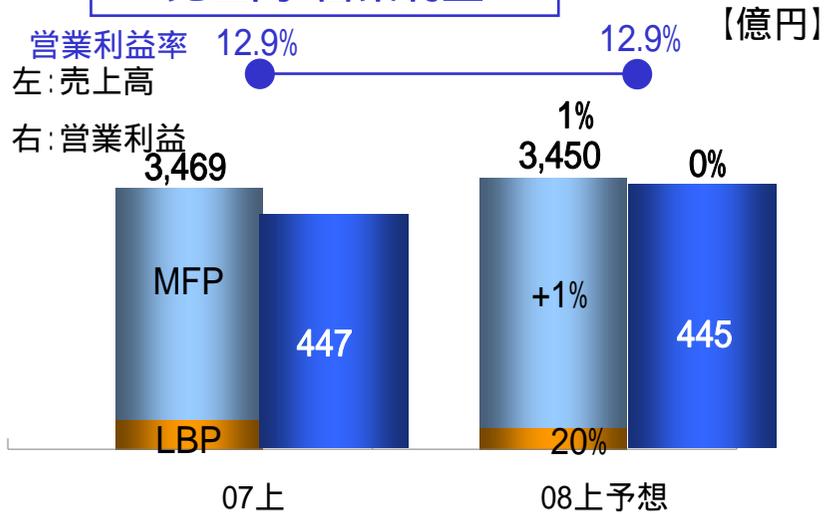
KONICA MINOLTA

売上高	5/9公表値			07年度 通期	対前年 増減 増減率	
	上期	下期	通期		増減	増減率
情報機器	3,450	3,750	7,200	7,010	190	3%
オプト	1,000	1,100	2,100	1,823	277	15%
メディカル & グラフィック	750	750	1,500	1,611	111	-7%
その他事業	100	100	200	168	32	19%
事業計	5,300	5,700	11,000	10,612	388	4%
HD他	50	50	100	104	4	-4%
グループ計	5,350	5,750	11,100	10,716	384	4%

営業利益	上期	下期	通期	07年度 通期	対前年 増減 増減率	
					増減	増減率
情報機器	445	495	940	901	39	4%
(営業利益率)	12.9%	13.2%	13.1%	12.9%		
オプト	160	170	330	313	17	6%
(営業利益率)	16.0%	15.5%	15.7%	17.1%		
メディカル & グラフィック	20	30	50	78	28	-36%
その他事業	10	15	25	21	4	20%
事業計	635	710	1,345	1,312	33	2%
(営業利益率)	12.0%	12.5%	12.2%	12.4%		
HD消去他	70	75	145	116	29	-
グループ計	565	635	1,200	1,196	4	0%
(営業利益率)	10.6%	11.0%	10.8%	11.2%		

# 2Qの重点課題<情報機器事業>

## 売上高・営業利益



## ジャンルトップ戦略の徹底推進

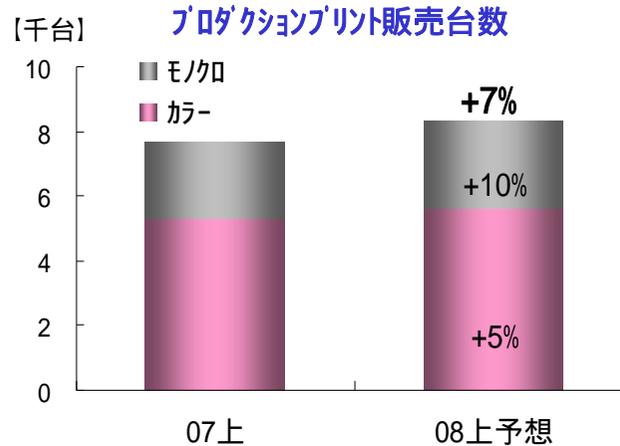
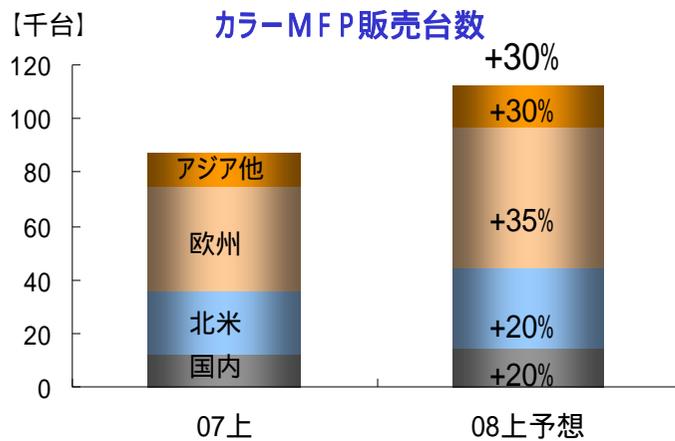
### カラーMFP

- ダンカ社買収効果を早期に実現し、米国のカラー化を加速。
- 新製品展開によるWWでの販売拡大。

### プロダクションプリント

- カラー新製品の投入で北米・欧州中心に拡販推進。
- 上期計画台数(対前年): +7%

## 主力製品販売数量



## 新製品

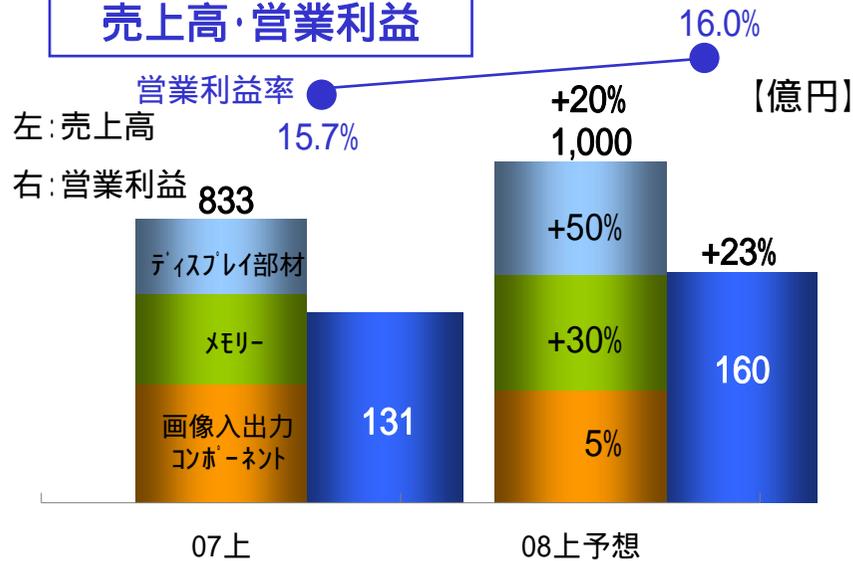


bizhub PRO C6501/C5501

2008年08月発売

# 2Qの重点課題<オプト>

## 売上高・営業利益



## 主力3製品の増収モメンタムを維持向上

### TACフィルム

■VA-TACを中心に1Q好調モメンタムを維持。

### 光ピックアップレンズ

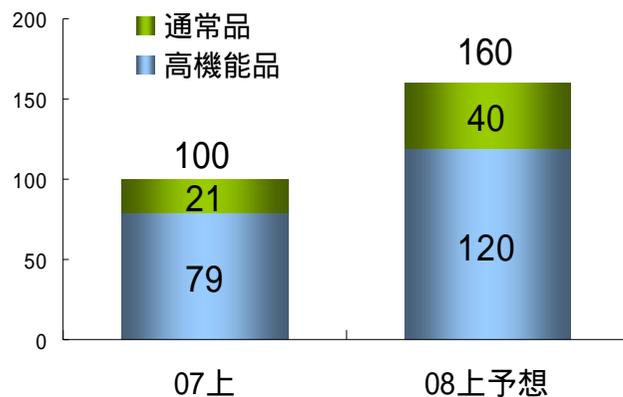
■BD用の更なる数量拡大。

### ガラスHD基板

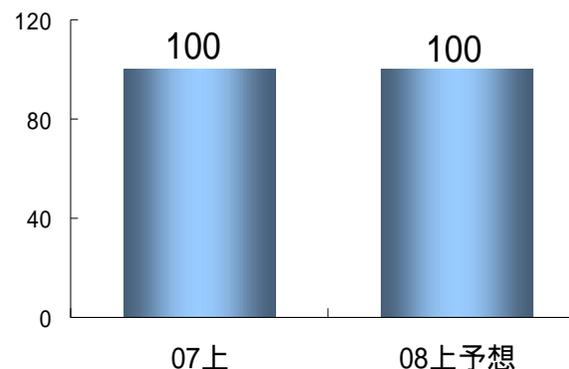
■マレーシア新工場フル稼働による更なる数量拡大。

## 主力製品販売数量 (07年度上期実績を100とした場合の指数)

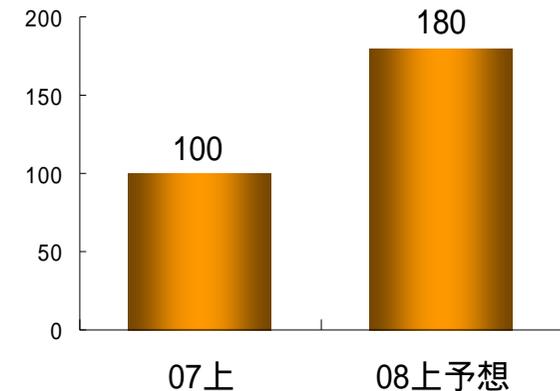
### TACフィルム販売数量



### 光ピックアップレンズ販売数量



### ガラスHD基板販売数量

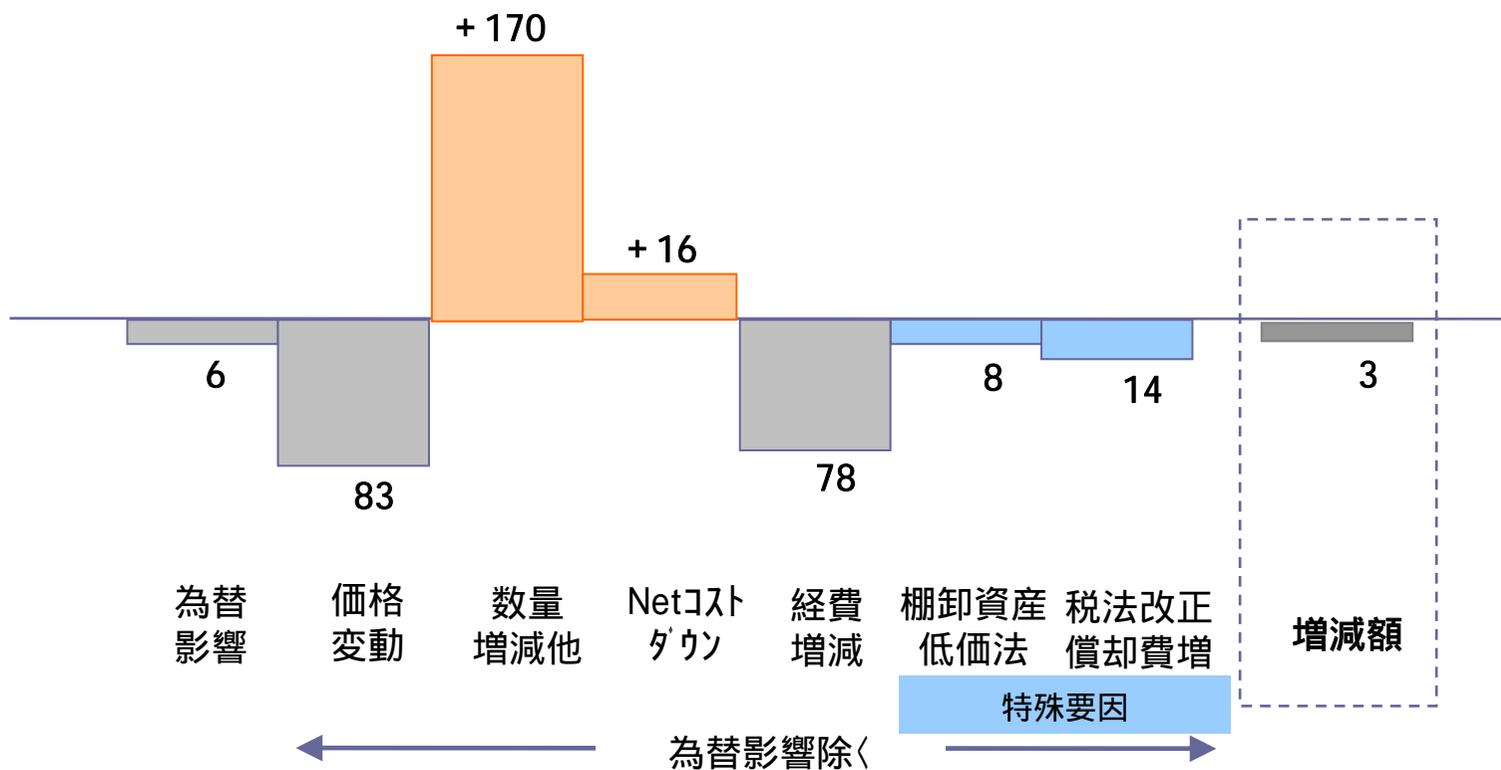


# 参考情報

# 営業利益増減分析



【億円】

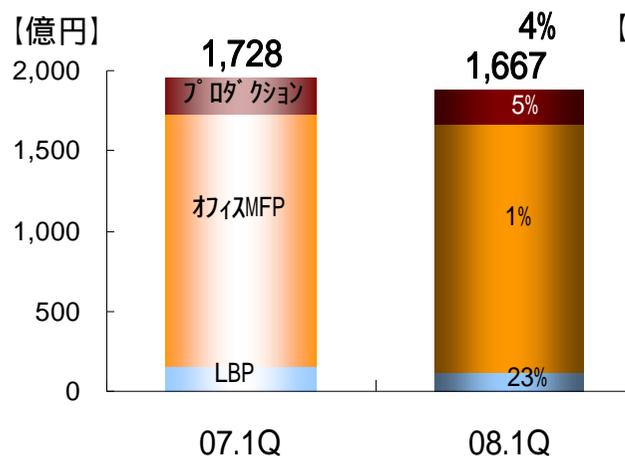


# 08年度1Q 主要3セグメント売上・数量

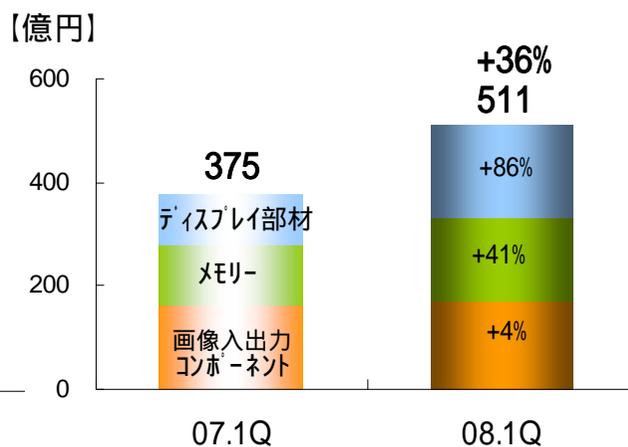


## 売上高

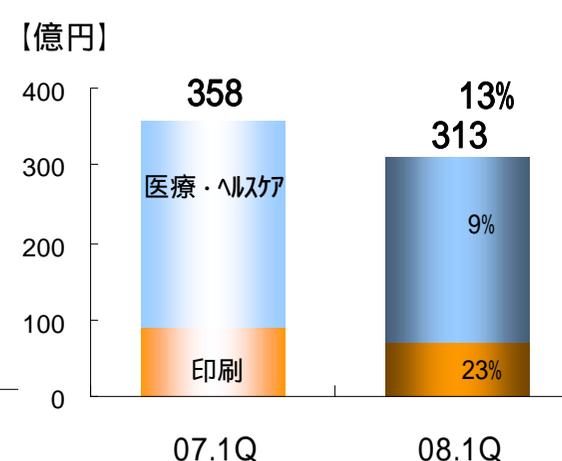
### ■情報機器事業



### ■オプト事業



### ■メディカル&グラフィック事業



## 販売数量増減(対前年)

<b>■ MFP</b>	<b>+2%</b>
カラー	+24%
モノクロ	7%
うちプロダクションプリント	+2%
<b>■ LBP</b>	<b>43%</b>
カラー	24%
うちタンデム	+17%
モノクロ	50%

<b>■ ディスプレイ部材</b>	
TACフィルム	+86%
<b>■ メモリー</b>	
光ピックアップレンズ	+12%
ガラスHD基板	+98%
<b>■ 画像入出力コンポ-ネ-ント</b>	
携帯用コンポ-ネ-ント	+118%

<b>■ 医療・ヘルスケア</b>	
X線フィルム	8%
CR(デジタル入力機)	+26%
<b>■ 印刷</b>	
印刷フィルム	39%
デジタル印刷機	12%

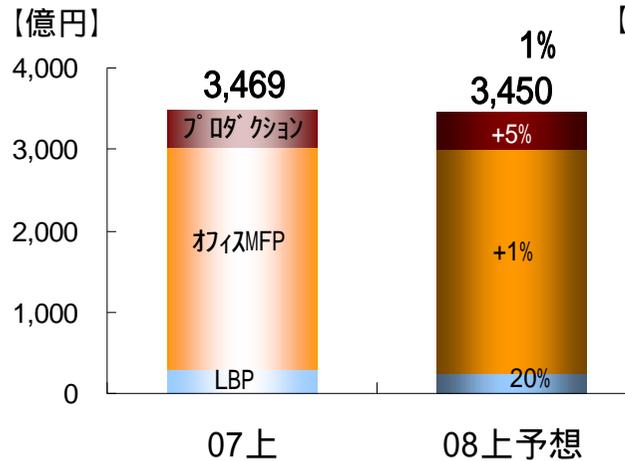
The essentials of imaging

# 08年度上期 主要3セグメント売上・数量計画

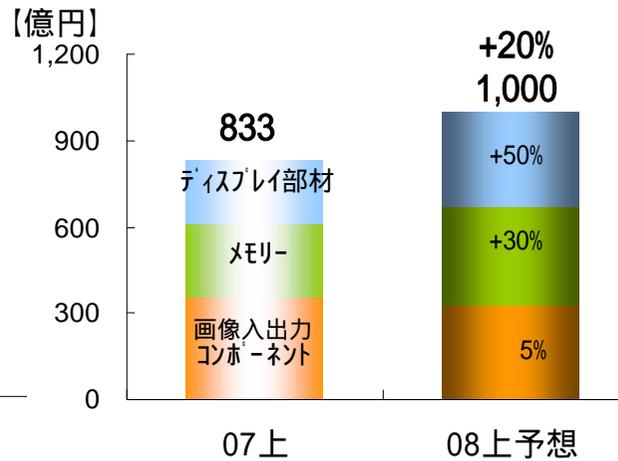


## 売上高

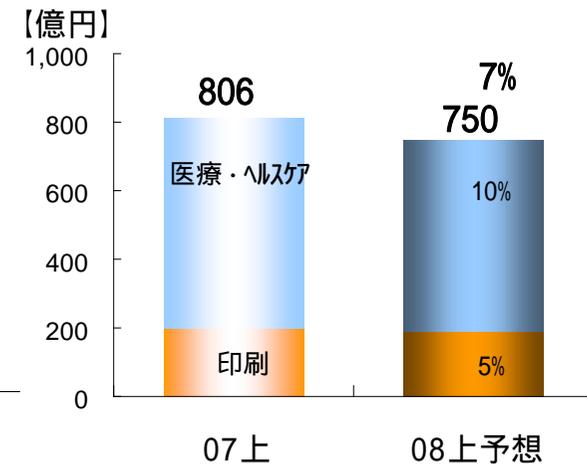
### ■情報機器事業



### ■オプト事業



### ■メディカル&グラフィック事業



## 販売数量増減(対前年)

<b>MFP</b>	<b>0%</b>
カラー	+30%
モノクロ	10%
うちプロダクションプリント	+7%
<b>LBP</b>	<b>35%</b>
カラー	0%
うちタンデム	+90%
モノクロ	50%

<b>ディスプレイ部材</b>	
TACフィルム	+60%
<b>メモリ</b>	
光ピックアップレンズ	0%
ガラスHD基板	+80%
<b>画像入出力コンポ-ネント</b>	
携帯用コンポ-ネント	+65%

<b>医療・ヘルスケア</b>	
X線フィルム	15%
CR(デジタル入力機)	+15%
<b>印刷</b>	
印刷フィルム	45%
デジタル印刷機	+25%

# 販売費及び一般管理費



【億円】

	08.1Q	07.1Q	増減
販売費	130	152	23
研究開発費	209	187	22
人件費	361	411	50
その他	256	263	7
<b>販売費及び一般管理費</b>	<b>955</b>	<b>1,013</b>	<b>58</b>
サービス費用(販売費)の 売上原価計上分	79		
<b>読み替え後</b>	<b>1,034</b>	<b>1,013</b>	<b>21</b>

販管費における為替影響： 30億円の減少(実質51億円の費用増)

# 営業外収支



【億円】

	08.1Q	07.1Q	増減
受取利息・配当金	13	8	5
為替差益	25	41	16
その他	19	18	2
営業外収益計	57	66	9
支払利息・社債利息	13	13	1
棚卸資産評価損・処分損	-	10	10
その他	9	13	4
営業外費用計	23	37	14
営業外収支	35	30	5

# 特別損益



【億円】

	08.1Q	07.1Q	増減
固定資産売却益	1	0	0
関係会社株式売却益	28	0	28
事業譲渡益	31	-	31
その他	0	-	0
<b>特別利益計</b>	<b>59</b>	<b>1</b>	<b>59</b>
固定資産除却・売却損	5	3	2
事業構造改善費用	6	-	6
退職給付制度改定損	20	-	20
その他	1	0	1
<b>特別損失計</b>	<b>31</b>	<b>3</b>	<b>28</b>
<b>特別損益</b>	<b>28</b>	<b>2</b>	<b>30</b>

# 研究開発費・設備投資・減価償却費・FCF



【億円】

	08.1Q 実績	07.1Q 実績	対前年 増減	増減率
研究開発費	209	187	22	12%
設備投資	137	228	91	-40%
減価償却費	162	139	22	16%
FCF	93	17	110	-

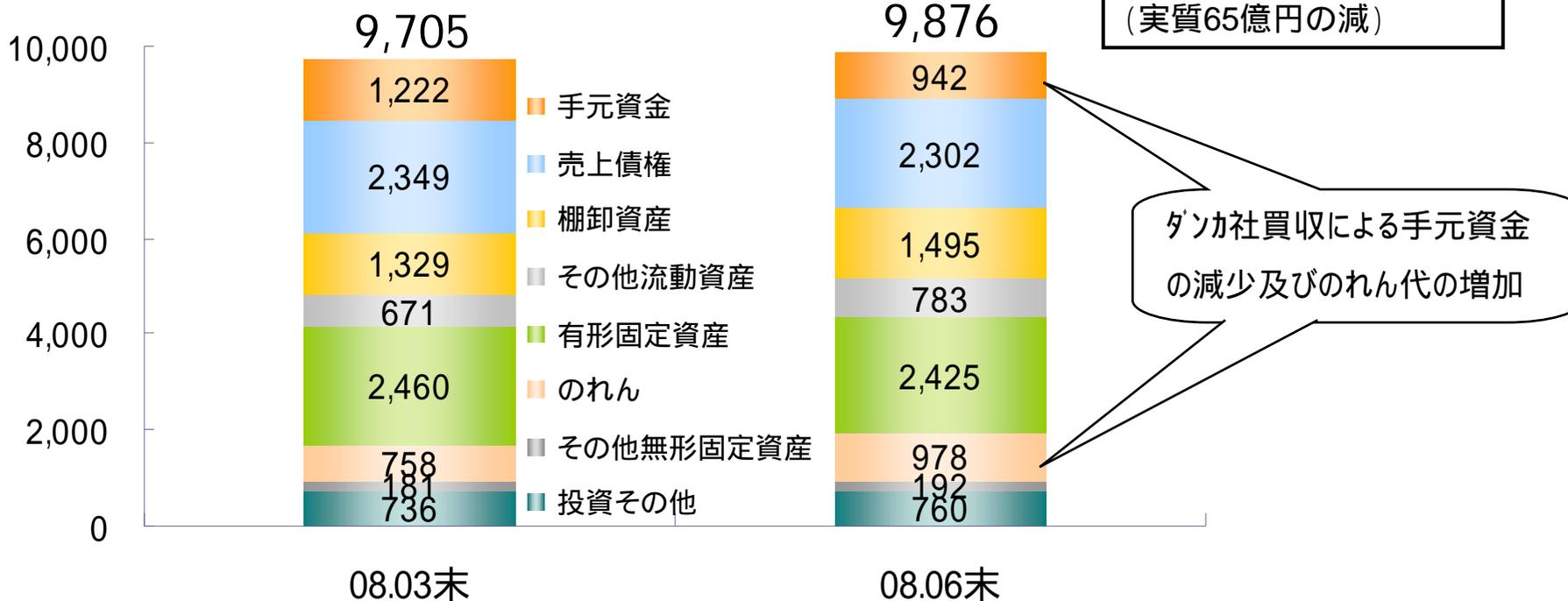
# 貸借対照表(資産)



## 資産の部

為替レート	08.3末	08.6末
US \$	100.19	106.42
円	158.19	168.07

【億円】



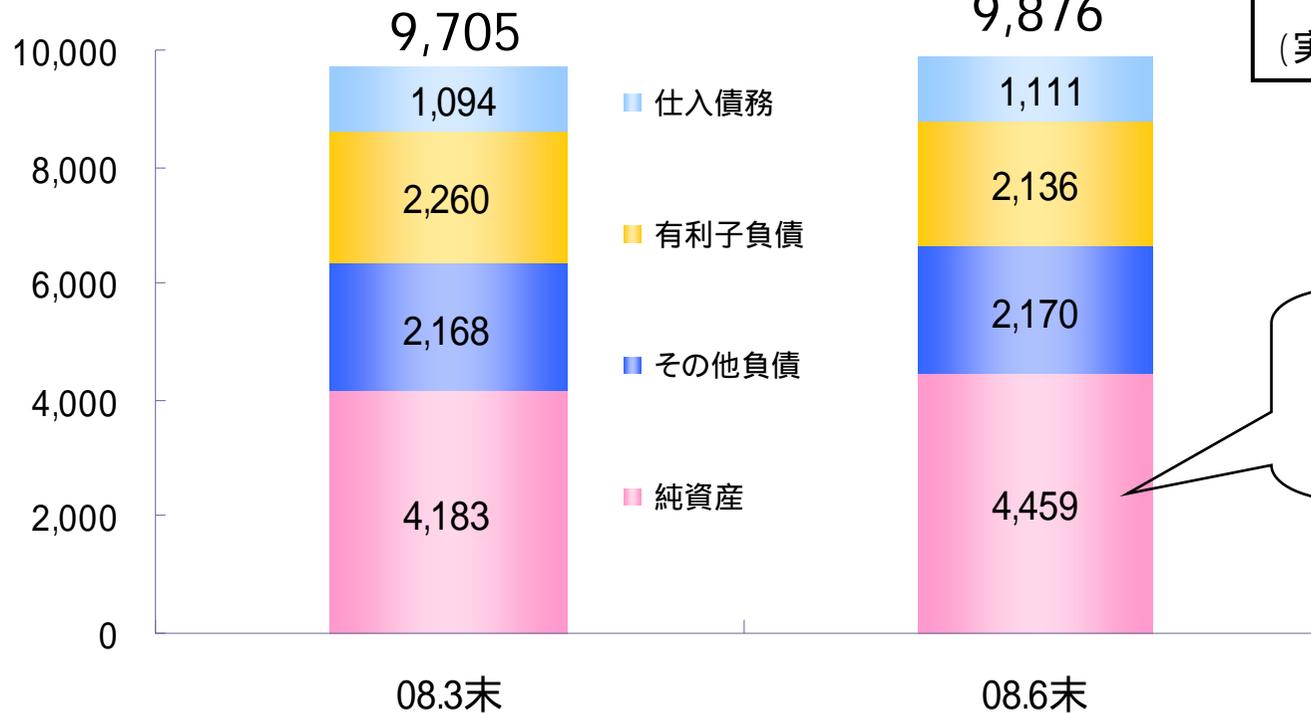
# 貸借対照表(負債及び純資産)



## 負債・純資産の部

為替レート	08.3末	08.6末
US \$	100.19	106.42
1-円	158.19	168.07

【億円】



増減: 171億円  
 為替影響額: 236億円  
 (実質65億円の減)

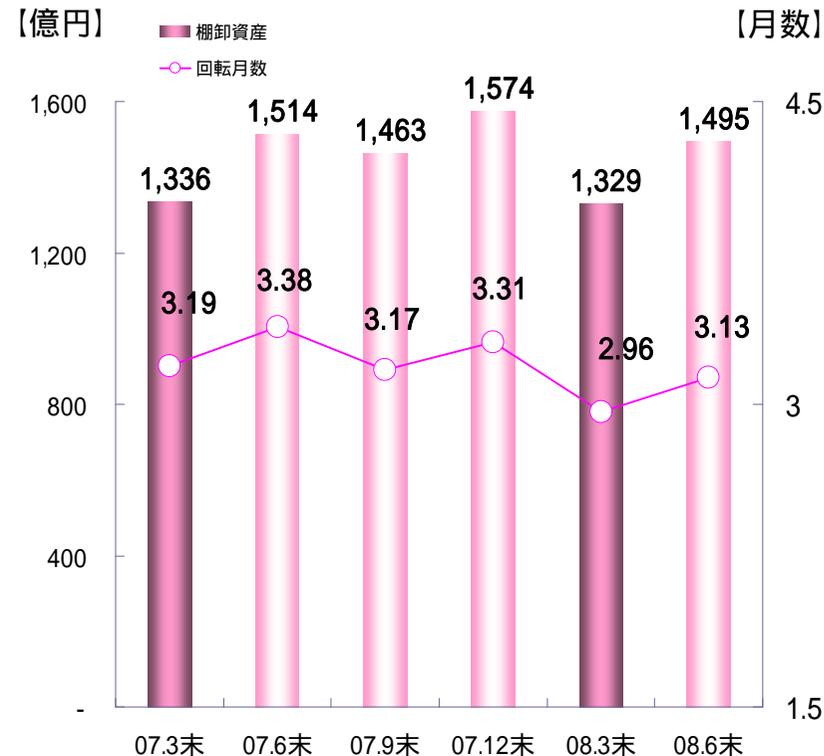
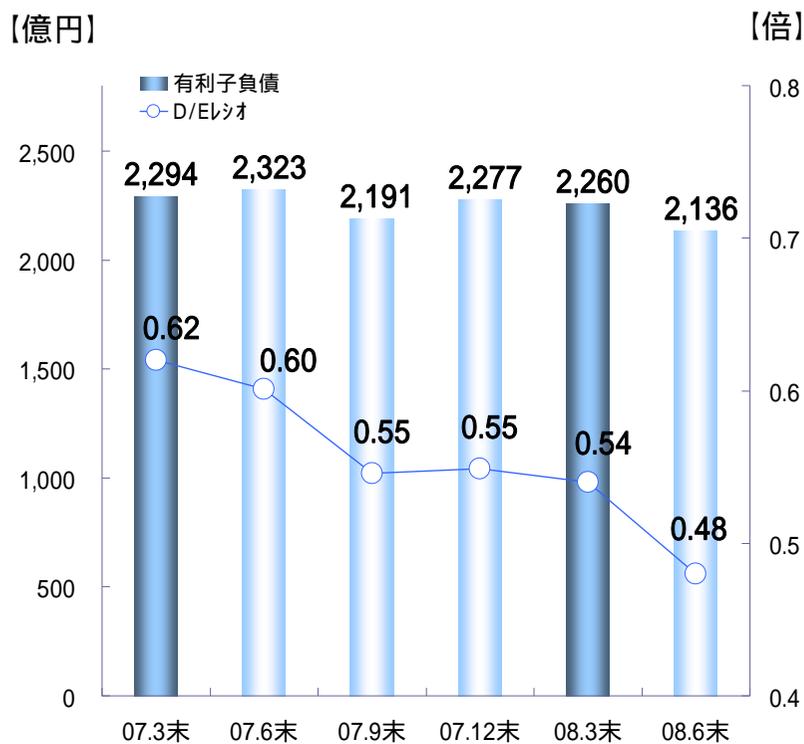
自己資本比率  
 08.3末 43.0% → 08.6末 45.0%

# 08年 3月末 有利子負債及び棚卸資産の推移



有利子負債残高及びD/Eレシオの推移

棚卸資産及び棚卸資産回転月数の推移



D/Eレシオ:  
 $\text{期末有利子負債} \div (\text{期末株主資本} + \text{評価} \cdot \text{換算差額等})$

棚卸資産回転月数:  
 $\text{期首} \cdot \text{期末棚卸資産平均} \div (\text{1ヶ月平均売上原価})$

# キャッシュ・フロー



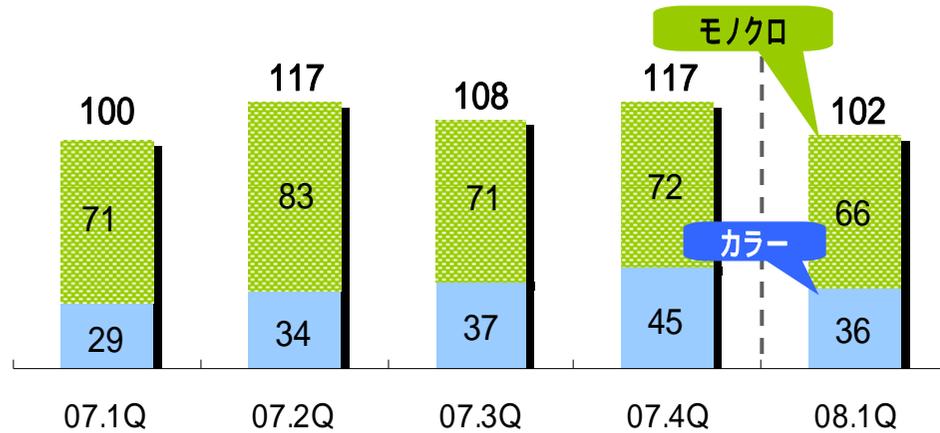
	【億円】		
	08.1Q	07.1Q	増減
税金等調整前純利益	308	275	33
減価償却費	162	139	22
のれん償却額	17	17	0
事業譲渡及び株式売却益	59	0	59
フォトイメージング事業終了引当金増減	13	17	4
運転資本増減	7	12	5
その他	2	2	4
法人税等支払額	184	186	3
) 営業活動によるCF	222	218	4
) 投資活動によるCF	315	201	114
+ ) FCF	93	17	110
有利子負債の増減	162	5	167
配当金の支払額	39	53	14
その他	12	1	11
) 財務活動によるCF	213	49	164

# <情報機器事業>主要製品販売数量トレンド

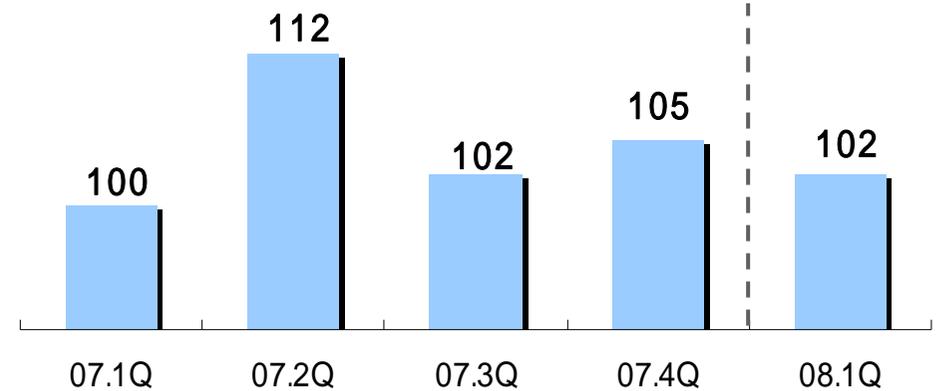


◆07年度1Q実績を100とした場合の指数

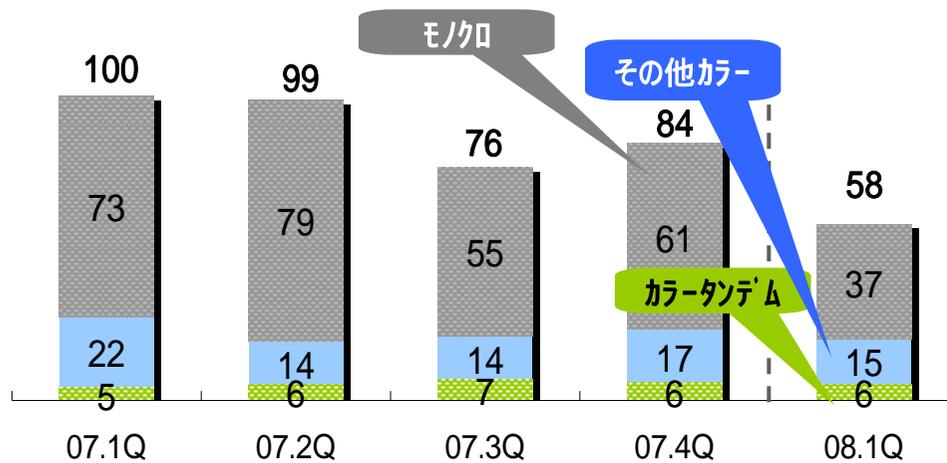
MFP (カラー/モノクロ)



プロダクションプリント(カラー+モノクロ)



LBP



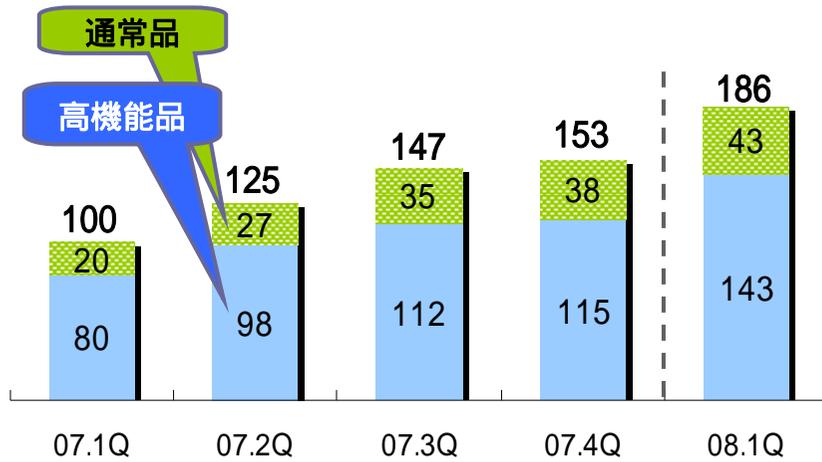
The essentials of imaging

# <オプト事業>主要製品販売数量トレンド

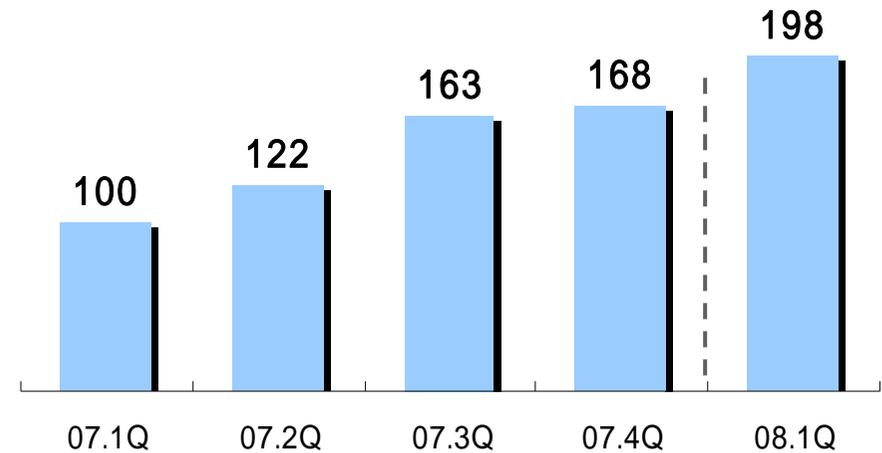


◆07年度1Q実績を100とした場合の指数

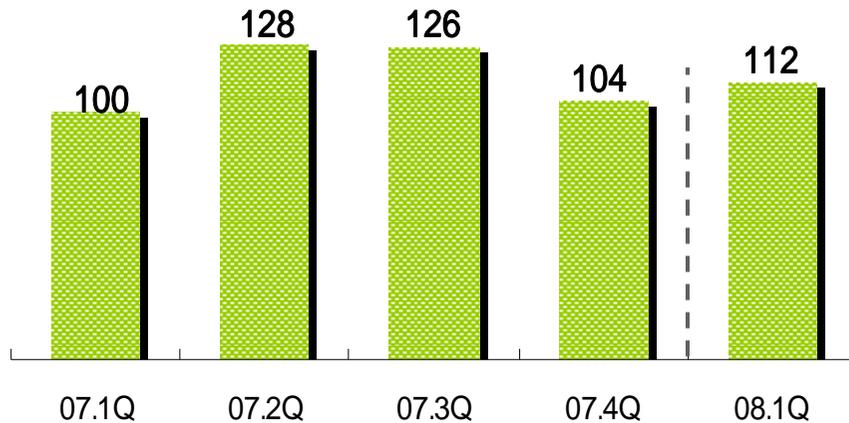
### TACフィルム



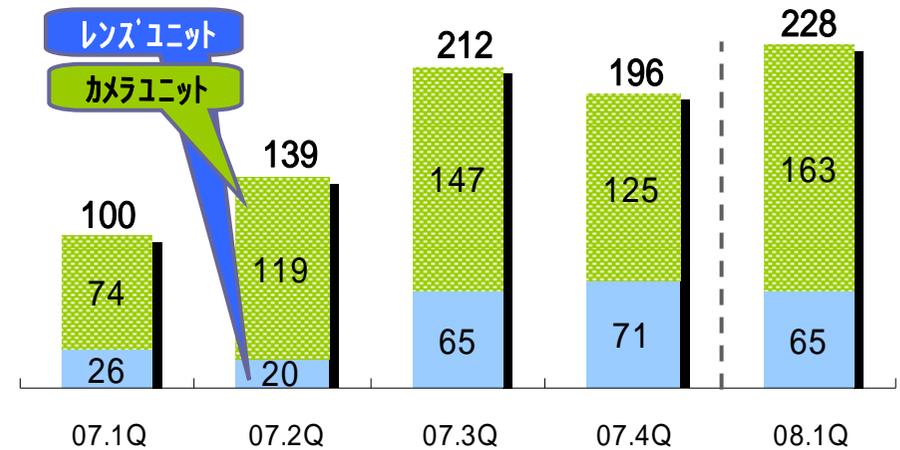
### ガラスHD基板



### 光ピックアップレンズ



### 携帯用コンポーネント



# <メディカル & グラフィック事業>主要製品販売数量トレンド



◆07年度1Q実績を100とした場合の指数

